

令和7年度前期学校評価アンケートまとめ

野田市立中央小学校

学校教育目標 「自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成」

重点目標 (1) 思いやりの気持ちを持ち、主体的に活動できる子の育成

(2) 確かな学力の育成

(3) 積極的な情報発信と、地域とともに安全安心な学校づくり

1 アンケート項目及び結果について

児童・保護者・職員に対して実施した質問項目とその結果は別紙のとおりです。関連する質問項目ごとに整理し、肯定的な回答について比較をしています。

2 重点目標に関する状況について

(1) 思いやりの気持ちを持ち、主体的に活動できる子の育成について

本校では、令和6年度より定期的に学年主任会議や職員打合せを行い、全学級が基本的な生活習慣及び学習ルールを共通認識して指導にあたれるようにしています。疑義や新たな問題が生じた場合には、随時見直しや共通理解を図っています。

特に今年度は、前年度の課題を踏まえ、給食センター栄養教諭と連携を図り、全校で共通した給食指導や食事時間の拡大を行っています。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「1 学校は楽しいか」では、児童 92% 保護者 96% 職員 97%であり、3者ともに9割以上の回答が見られ、意欲的に学校生活を過ごしている児童が非常に多い状況にあります。「6 ルールやマナーを守って生活しているか」の設問でも、児童 94% 保護者 93% 職員 100%であり、秩序ある学校生活ができていると考えられます。

また、「22 給食を残さず(好き嫌いなく)食べているか」では、児童 74% 保護者 68% 職員 97%であり、前年度後期の数値を上回り、十分ではないものの大きな改善が見られてきています。

一方で、「3 挨拶をしているか」では、児童 89% 保護者 82% 職員 66%でした。「23 掃除(手伝い)をしているか」でも、児童 94% 保護者 74% 職員 84%であり、児童と保護者・職員の状況に差があります。

今後は、対人関係の基礎となる日常の挨拶を充実させていきたいと考えます。さらに、給食や清掃といった学校生活の部分についても、児童が主体的に活動できるよう指導の工夫改善を進めていくことが必要であると考えます。

(2) 確かな学力の育成について

一人一人の児童に応じたきめ細やかな指導のために、県費職員だけではなく、市費職員(サポートティーチャー・教育支援員・ALT・学校図書館支援員・スクールカウンセラー)と連携して取り組んでいます。

特に今年度は、職員の授業力向上を目的として、外部講師を招聘して全職員が参加する校内研修の拡充、若年層教員を対象とした研修の充実にも取り組んでいます。前年度の課題を踏まえ、全学年で家庭学習や読書の取組も推奨しています。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「16 学んだことは役に立っているか」では、児童 90% 保護者 86% 職員 94%であり、多くの児童が学習に取り組んだことを様々なことにいかそうとしている姿があります。また、「14 学習の課題を解決する授業を推進しているか」でも、保護者 91% 職員 100% (児童調査なし)であり、研修をいかした職員の指導方法の工夫改善が進んできていることがわかります。

また、「19 本を読んでいるか(指導を行っているか)」では、児童 61% 保護者 50% 職員 94% でした。「20 家庭学習をしているか(指導を行っているか)」でも、児童 50% 保護者 70% 職員 91% であり、前年度後期の数値を上回り、改善の兆しが見られてきています。

一方で、「15 よく考えて学習できているか(学習が身についているか)」では、児童 90% 保護者 82% 職員 79% であり、学習内容の定着について課題を感じている状況もあります。

今後は、当該学年の学習内容をしっかりと身につけることはもちろんのこと、児童が主体的に学習に取り組む活動や興味関心を広げる活動を進めることが大切と考えます。

(3) 積極的な情報発信と、地域とともに安全安心な学校づくりについて

本校では、令和 6 年度より登校日は学校ホームページを毎日更新したり、校外学習・修学旅行・林間学校の様子を細やかに掲載したり、積極的な情報発信に努めてきました。また、今年度から市内全校で運用が始まった LINE スクール連絡帳は、他校に先駆けて、配信方法の工夫や掲示板の活用等を行い、「保護者が知りたい情報」を伝えられるように努めました。

また、前年度の課題を踏まえ、各学年で児童が地域に目を向ける学習機会を設けることにも配慮してきました。

学校評価アンケート(肯定的評価)の「26 安全や健康に配慮した教育活動や環境整備を行っているか」では、児童 93% 保護者 89% 職員 100% であり、健康安全への取組や環境整備によって、安心安全な学校生活や教育環境が維持できていることがわかります。

また、「29 地域の行事に進んで参加しているか」では、児童 81% 保護者 75% (職員調査なし) でした。「30 保護者や地域と連携した教育活動を進めているか」でも、保護者 90% 教員 97% (児童調査なし) であり、大幅に改善が見られています。

今後も、心身ともに健康な生活ができるよう取組を継続していくとともに、保護者や地域との関係づくりを重ねて、協力を得ていくことが必要であると考えます。

3 保護者からの「よりよい学校にするための提案」について

主な提案内容は以下のとおりでした。御意見をもとに、下記のとおり夏季休業以降の教育課程や職員の指導の改善につなげてきました。

令和 6 年度より、積極的な学習参観や行事公開等を進めてきましたが、日々の学習の様子も含め、教育活動のさまざまな側面を十分に伝えられていないと感じます。引き続き積極的な情報発信に努めるとともに、より充実した教育活動が展開できるよう改善してまいります。

○学校行事の実施内容・公開方法

<改善の一例>

- ・運動会は、今年度より全学年実施に見直したため、来場者も多くなりました。保護者の皆様がお子様の姿を十分参観できるようにするために、次年度は会場レイアウトの変更を検討します。
- ・各行事の開催方法を慣例ではなく、児童が主体的に取り組めるように、前年度の反省点を生かして実施するようにしています。

○職員の指導方法

<改善の一例>

- ・教職員の指導力向上は、喫緊の課題であると強く認識しています。校内研修として具体的な指導方法を専門家より研修する機会を適宜設けています。
- ・教職員の振る舞いは小学校段階の児童の成長に大きな影響を与えることから、指導方法の研修を重ねています。
- ・昨今、教職員による性犯罪等が報道されています。不祥事根絶のための職員研修の実施に加えて、定期的な施設の点検も実施しています。

○タブレット端末の利用方法

<改善の一例>

- ・学習内容に応じて、指導者がデジタル教材かアナログ教材か効果を考えて指導するように取り組んでいます。
- ・単にタブレット端末を使わせるのではなく、学習内容がさらに広がり、深まることをめざした活用方法を教職員で検討しています。
- ・タブレットの持ち帰りにあたっては、各学年の実情に応じて、その他（教科書やノート等）の持ち帰りの精選を行うようにしています。

○学校からの情報発信・デジタル配信の方法

<改善の一例>

- ・LINEスクール連絡帳は、配信方法の改善や掲示板の活用等を行い、運用方法を適宜見直しています。あわせて、サービス提供会社に依頼し、表示等のシステム改修を依頼しています。

○学校施設の修繕・通学路の安全確保

<改善の一例>

- ・児童が安心して一日の学校生活を過ごせるよう、修繕を要する箇所を取りまとめ、教育委員会担当課に要望しています。少しずつ改善が進められている状況です。
- ・体育館空調設備新設や屋外トイレ改修は、学校としても早期の実施を強く要望しています。
- ・通学路の危険箇所は、教職員が点検を行った上で、早急な改善を教育委員会および道路管理者に要望しています。スクールゾーンの通行車については、近隣住民からも御意見をいただきており、野田警察署に巡回を依頼しています。

○体操服の素材

<改善の一例>

- ・過日通知しましたとおり、業者と協議を重ね、半袖上着の素材等を見直しました。
12月から販売を開始します。